

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜市立早田小学校				
実 施 期 間	平成25年10月26日(土)				
実 施 概 要	「早田ふれあいデー」～地域の方との交流会～ ・昔の遊び体験 ・物づくり体験 ・ミニスポーツ体験 ・早田公民館文化祭の見学 ・活動体験発表 感謝の会 ・全校合唱、 ・食育体験交流				
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他				
来 校 者 数	保 護 者	90人	計 255人		
	地域関係者	165人			
実 施 状 況	1 ブロック班(縦割り班)ごとに整列し、体育館で開会式 2 活動(1)(2) ・地域やPTAの方を講師として23のコーナーを開設 <table border="1" data-bbox="446 963 1412 1086"><tr><td>こままわし・竹馬・紙飛行機・折り紙・あやとり・のびのび運動・どんぐりアート・空き缶笛・和太鼓・大型オセロゲーム・ミニわらじ・グランドゴルフ・輪投げ・引き相撲 ・ゲーム3種・空き缶積み競争・立体紙アート・むささびグライダー・よたよたペンギン・サンキューカード・くるくるロケット・ビックリキューブ</td></tr></table> <table border="1" data-bbox="446 1093 1412 1153"><tr><td>老人クラブ3・友愛会3・早田公民館3・早田太鼓の会1・民生児童委員会2・体育振興会2・早緑会1・青少年市民会議3・子ども会2・PTA3</td></tr></table> ・全校を縦割りにした36グループ(15人前後)で活動 活動に取り組む中で、地域の方に教えてもらったり話したりすることで地域の方とふれあうことができた。 3 ブロック班でお弁当(児童が自作する等の自分でかかわった昼食) 4 全校児童、地域やPTAの方が一同に集い、体育館で感謝の会 5 早田公民館文化祭の作品鑑賞 6 地域生活委員の方とともに「子ども110番の家」めぐり			こままわし・竹馬・紙飛行機・折り紙・あやとり・のびのび運動・どんぐりアート・空き缶笛・和太鼓・大型オセロゲーム・ミニわらじ・グランドゴルフ・輪投げ・引き相撲 ・ゲーム3種・空き缶積み競争・立体紙アート・むささびグライダー・よたよたペンギン・サンキューカード・くるくるロケット・ビックリキューブ	老人クラブ3・友愛会3・早田公民館3・早田太鼓の会1・民生児童委員会2・体育振興会2・早緑会1・青少年市民会議3・子ども会2・PTA3
こままわし・竹馬・紙飛行機・折り紙・あやとり・のびのび運動・どんぐりアート・空き缶笛・和太鼓・大型オセロゲーム・ミニわらじ・グランドゴルフ・輪投げ・引き相撲 ・ゲーム3種・空き缶積み競争・立体紙アート・むささびグライダー・よたよたペンギン・サンキューカード・くるくるロケット・ビックリキューブ					
老人クラブ3・友愛会3・早田公民館3・早田太鼓の会1・民生児童委員会2・体育振興会2・早緑会1・青少年市民会議3・子ども会2・PTA3					
成 果 及 び 課 題	○地域やPTAの方を招待しての活動体験発表、感謝の会、全校合唱、食育体験交流において、全校児童と地域の方、保護者とが一体になってかわりを深めることができた。 ○各講座において、準備の段階から地域の方々に積極的にかかわっていただき、スムーズに活動を進めることができた。 ○6年生が縦割グループのリーダーとして下学年の児童の世話をすることができた。活動の開始と終了時の挨拶がしっかりとでき、説明も真剣に聞くことができた。ゲートボールのルールや、各工作等の作り方を習う中で説明を聞き、質問をし、地域の方と心の交流を深めることができた。 ○公民館の文化祭に、縦割グループでうまく見学をすることができた。 ○地域の方々から「子どもたちの活動中の笑顔がよかった。」「活動をどの子も真剣に楽しんでおりうれしかった。」「来年もぜひ、子どもたちと交流したい。」という感想をいただいた。 ○在宅型家庭教育実践の食育指導として、弁当を児童が自作する等個に応じた工夫をする取り組みをしPTAの家庭教育との連携を図ることができた。 ●昨年度に引き続いて関わりを深めるための「感謝の会」を位置付け、表現力を発揮する場を大切にすることができたが、コーナーの活動については教科や領域等の指導との関連でねらいを明確にするとよい。				